

西オーストラリア州の安全を守るため、連絡先の記録保持が義務付けられます。

12月5日土曜日より、西オーストラリア州の特定の事業者や施設に、従業員および顧客の連絡先を記録し保持することが義務付けられます。

連絡先の記録保持の再義務化は、追加的な感染対策措置であり、必要な場合には西オーストラリア州保健省の接触追跡を支援するものです。

以下のような事業者または施設に連絡先の記録保持が義務付けられます。

- 飲食店および酒類ライセンスを所持する施設（レストラン、カフェ、バー、パブ、居酒屋、ナイトクラブ）
- ジム、屋内スポーツセンター、プール
- 礼拝所および葬儀場
- 美容院および理髪店などの美容・パーソナルケアサービス
- ギャラリーおよび美術館
- 映画館、劇場、その他の娯楽施設
- オークション会場および不動産の建物状況調査
- コミュニティ施設、図書館、ホール
- 動物園および遊園地
- 会合・式典施設
- 既にチェックイン手続き済みの宿泊施設（ホステル、ホテル、大型キャンプ場など）

上記で指定された事業者および施設は、施設を訪れた顧客、従業員、ビジター、請負業者全員について、訪問日、氏名、電話番号、到着時間を記録することが義務付けられます。ただし、持ち帰り用の飲食品を引き取る場合を除きます。

連絡先を記録した台帳は、必ず28日間保管し、他の目的に使用してはなりません。

記録は、保健省による新型コロナウイルスの接触追跡を目的としてのみ保持されます。

西オーストラリア州政府は、事業主および施設を支援するために、無料アプリ「SafeWA」を開発しました。これは、顧客および従業員がQRコードをスキャンして施設への訪問を記録する、オンラインによる連絡先記録システムです。

SafeWAは本日より、Apple App StoreまたはGoogle Playからダウンロードすることができます。そのため、事業主および施設がSafeWAを使用することを決定した場合、2020年12月5日土曜日までこのアプリを実装することができます。

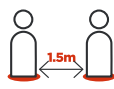
このアプリは無料で使いやすい非接触型ソリューションとして提供されていますが、SafeWA の使用は必須ではありません。

事業主、施設、個人の状況に応じて、他の電子ツールや紙ベースのシステムなど、代替の形式により連絡先の記録義務を果たすこともできます。

事業主は、アプリを使用しない人のために、連絡先記録台帳を書面で用意する必要があります。

連絡先の記録保持の義務に関する新たな要件に従わない場合、個人には50,000ドル以下、法人には250,000ドル以下の罰金、または懲役12カ月が科される場合があります。

西オーストラリア州の新型コロナウイルス感染症に関する安全原則



可能な場合は、ソーシャルディスタンスを確保する



定期的に手を洗う



体調が悪い時はステイホーム



症状がある時は検査を受ける



SafeWAアプリをダウンロードする